

# 株式会社ジェイコムイースト かながわセントラル局

## 2017年度 放送番組審議会 議事録

2017年度の放送番組審議会は、2018年2月9日(金)にかながわセントラル局3階会議室で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

—ご出席—

網代 宗四郎 様	菊池 寛 様	栗原 茂明 様
坂本 文彦 様	林 俊明 様	星野 俊江 様

事業者側から局の現況報告、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(林会長による進行)

### ◆地域情報の収集について

**委員** 民放など一般のテレビが取材していないもの、市民になじみの薄い分野の情報などを取材してもらえると良い。幅広い観点からの情報収集法として、地域で活躍する女性や退職者の方々のネットワークを生かし、特派員のような形で情報源を広げては？番組を見てもらう機会にもつながると思う。

**委員** 番組で取り上げてもらえるとやりがいにつながる。また他地区のまちづくりやまちおこしについて参考にすることができた。情報強化のため、特派員制度をぜひ、すすめてもらいたい。また私たちが情報提供するにあたり窓口を示してほしい。

**事業者** 特派員制度については実現に向けて少しずつ動き始めている。今はNHKや民放などでもスマホで撮影した映像を使用する時代。J:COMでも地元からの情報をデイリーニュースで活用できる仕組み作りをしていきたい。情報提供については、局地域プロデューサーやメディアセンターへ直接お知らせいただきたい。

**委員** 地域のFM局は情報収集力が高い。特派員の考え方のひとつとして、パーソナリティーの女性を活用するなど考えてみるなど良いのでは？

**事業者** 有事の際などにはFM局とのつながりが大切。連携強化し、安心安全情報を伝

えられるようにしていきたい。

#### ◆企画番組・特別番組について

**委員** 鉄道と行政が協力して駅周辺の散策マップなどを作成している。ウォーキングイベントなどを実施しているケースもあるので、例えば同行取材し点在する史跡を紹介することで地域の歴史を知ることが出来、多くの市民の顔もテレビに出る。また、番組を見てお年寄りが「出かけてみたい」という仕掛けになる。社会貢献にもつながるのでは？

**委員** 鉄道会社が作成しているマップは、地元の人が知らなかった場所なども掲載されている。そういったマップを参考に、散策番組にしてみてもどうか。視聴者参加型にしても良いと思う。また、エリア内には農業が盛んな地区も多い。地元の野菜を使った「わがまちの自慢料理」のような番組はどうか。J:COM 加入者は年齢層も高いと思われるので、視聴につながるのではないか。

**委員** 農協女性部の皆さんに協力してもらい、地域に伝わる料理などを紹介しても良いのでは。また、散策番組であれば、ボランティアガイドの方々と連携しても良いと思う。皆さん、ガイドブックに載っていない、深掘りした情報を持っている。神社の情報などはどうか？年末年始の初詣や春祭り、秋祭りなどを地元の皆さんが準備し行っている。地域の慣習などを知ることでもあると思う？

**委員** 私の住む地域では桜の時期にあわせたウォーキングを実施している。防犯の視点から、子供たちの通学時間に合わせたり、まちの清掃と組み合わせたりしており、そういった取り組みを紹介してもらえたらと思う。

**委員(会長)** 以上の意見は番組制作への要望としたい。

**委員** 昨年生中継だった「かながわ駅伝」が今年は収録となっている。生中継の方がJ:COMらしいと思う。

**事業者** 生中継できるようにしたいが費用の問題もある。今年は収録だが、カメラ台数を増やし、きっちりと編集しお見せしたい。この大会は箱根駅伝に出場した選手もいるなど、どの自治体も力を入れている。コースも起伏に富み面白い。生中継については来年度また検討したい。

#### ◆視聴促進・プロモーションについて

**委員** 昨年度の審議会でも話が出たが、視聴促進について新たに行ったものはあるのか？また結果はどうだったのか？

**事業者** 視聴促進は大きな課題として考えている。チラシやガイド誌などは毎回実施しているが限界がある。やはり SNS の活用が重要。ツイッターなどで行っているが、J:COM だけでなく、出演者の皆さんにツイッターやブログなどで協力いただき発信している。

**事業者** 大和シルフィードの元選手に SNS で番組内容を発信してもらったこともあり、一定の効果があったと感じている。また、コミチャンへの社内理解が低かったので、社内掲示などで毎週目玉番組を周知することをはじめた。若手の営業マンなど、社内でしっかり番組を分かってもらうような取り組みをしている。

**事業者** ブログで発信力があり、フォロワーも多いブロガー・インフルエンサーに依頼するプロモーションを実施した。アプローチの仕方も番組内容にあわせ、興味を持つコミュニティに刺さるような告知を心がけるようにしている。効果については、視聴データは取っていないので、感覚値だが、「大和阿波踊り生中継」などは見ていただけたのではないかと思う。いずれにせよ、視聴促進活動は地道に続けることが大切だと思う。

**委員** 瀬谷区は J:COM の認知度が低いように思う。区民に J:COM を知ってもらうために、もっと区内の情報を取り上げてもらいたい。加入者も増えるし、視聴にもつながる。区内 12 地区会長が集まる会議に J:COM 担当者に出席していただき、その場で番組説明などしてもらえれば。

**事業者** 今後はどんどん地域にカメラを入れて J:COM を知ってもらいたいので、ぜひ、お伺いしたい。

**委員** 子供たちの学校での日常的な姿を追いかけてみてはどうか。最近は地域の人たちが学校に入るのも厳しくなっているので、ケーブルで放送してくれれば、学校の様子が分かるし、子供たちは未来の視聴者にもなる。

#### ◆防災情報・アプリ「ど・ろーかる」について

**委員** 災害時、ラジオは有効ではあるが、視覚的なものも必要だと思う。避難所などで情報が得られるような設備の準備を検討できないか？

**事業者** 各自治体(瀬谷区は締結に向け準備中)と防災協定を結んでいる。昨年は台風での避難所情報など、市からのダイレクト情報をコミュニティチャンネルで文字情報掲出した。熊本地震では市長に出演していただくなど、行政と協力し給水情報等情報発信していた。ご指摘の通り準備は必要なので、今後はもっと準備していきたい。

**委員** 災害時はインターネットだけがつながっているツールとなることが考えられる。リアルタイムに情報をあげて、ど・ろーかるで見られる環境になると良いのでは？

**事業者** ど・ろーかるはまだまだ改善点があるので、来年度引き続き改修していく。

**委員（会長）** 今回は様々な立場から意見を多くいただきましてありがとうございました。私たちも、地域密着型の放送番組を制作している J:COM と一体となって、地域を盛り上げて行きたいと思います。

以上